



中国言語文化学専攻 博士課程前期課程・カリキュラムツリー



DP1

- 1) 中国語学・中国語教育学・中国言語文化学に関する高い専門知識と研究能力を身につけている。
- 2) 国際社会に貢献できる高度なコミュニケーション能力と応用能力を有している。



DP2

- 1) 専門分野において、専門的な職業に従事するために必要な思考力と判断力を備えている。
- 2) 専門知識を駆使して、資料・情報の収集分析に基づき、結論を導き出す表現能力を修得し、独自に問題解決できる。



DP3

- 1) 旺盛な学習意欲を保ちながら新しい知識を追い求め続ける態度に基づき、国際社会における多様性を尊重し、多文化共生を意識しつつ多角的な視点から課題の探索と問題の解決に取り組むことを通じて、高度な専門性を自主的に構築できる。

M2

修士論文

後

中国言語文化学演習 I ~ IV D

前

中国言語文化学演習 I ~ IV C

M1

後

中国言語文化学特殊研究 I ~ IV B

前

中国言語文化学特殊研究 I ~ IV A

後

中国言語文化学演習 I ~ IV B

前

中国言語文化学演習 I ~ IV A

後

中国語コミュニケーション
実習 I ~ IV B

前

中国語コミュニケーション
実習 I ~ IV A

後

言語学特殊講義 I ~ II B
第二言語習得理論 B
対照言語学 I ~ III B
映像メディア文化論 B
言語情報処理論 B

外国語教授法特殊講義 B
社会言語学特殊講義 B
比較文化論特殊講義 B
情報文化論 B
マルチメディア教育論 B

前

言語学特殊講義 I ~ II A
第二言語習得理論 A
対照言語学 I ~ III A
映像メディア文化論 A
言語情報処理論 A

外国語教授法特殊講義 A
社会言語学特殊講義 A
比較文化論特殊講義 A
情報文化論 A
マルチメディア教育論 A

専門科目

演習科目

実習科目

共通科目



中国言語文化学専攻 博士課程後期課程・カリキュラムツリー



DP1

(1) 中国語学・中国語教育学・中国言語文化学の三分野もしくは、複数の分野にまたがって広範かつ高度な専門知識と必要な関連技術を修得している。



DP2

(1) 研究成果を学術論文としてまとめ、指導教授の助言を受けながら出来るだけ自力で遂行する資料収集・材料分析・学術判断・データ整理・文章構築などの総合能力を身につけている。
(2) 高度な異文化理解、知識摂取、学術連携、実務担当など行動力と発信力を有している。



DP3

(1) 幅広い専門知識と創造的な学術思考の構築を目指し、国際社会における多様性を尊重し、多角的な視点から問題の解決と多文化共生の実現に取り組むことを通じて、時代の発展に順応できる人材として産業・教育・研究の諸分野の今日的課題を主体的に学び続ける態度を常に保っている。

D3

博士論文

後 中国言語文化学特別演習 F

前 中国言語文化学特別演習 E

D2

中国言語文化学特論 I ~ V

後 中国言語文化学特別演習 D

前 中国言語文化学特別演習 C

D1

後 中国言語文化学特別演習 B

前 中国言語文化学特別演習 A

特論科目

演習科目

英語学専攻 博士課程前期課程・カリキュラムツリー



DP1

- (1) 英語学、英語教育学、言語文化学の各分野もしくは、複数の分野にまたがって広範かつ深い知識を身につけ実践的問題を解決できる。
- (2) 現在の知識をもとに、高度の専門性が求められる職業を遂行するための専門的知識、技能を身につけている。



DP2

- (1) 英語学・英語教育学・言語文化学の各分野、もしくは複数の分野にまたがる諸問題について、情報を正確かつ批判的に読み取り、それについて自らの考えを述べ、また論文にまとめることができる。
- (2) 自ら設定した主題に関するデータを収集、分析し、結論を導いて発表することができる。



DP3

- (1) 新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会で高度の専門性が求められる職業を遂行できる。
- (2) 異文化に関する知識を深め適切なコミュニケーションが図れる。

M2

修士論文

M1

後

言語学特殊講義 I ~ II B	外国語教授法特殊講義 B
第二言語習得理論 B	社会言語学特殊講義 B
対照言語学 I ~ III B	比較文化論特殊講義 B
映像メディア文化論 B	情報文化論 B
言語情報処理論 B	マルチメディア教育論 B

前

言語学特殊講義 I ~ II A	外国語教授法特殊講義 A
第二言語習得理論 A	社会言語学特殊講義 A
対照言語学 I ~ III A	比較文化論特殊講義 A
映像メディア文化論 A	情報文化論 A
言語情報処理論 A	マルチメディア教育論 A

共通科目

後

異文化コミュニケーション
実習 I ~ VII B

前

異文化コミュニケーション
実習 I ~ VII A

実習科目

後

英語学特殊研究 I ~ VB
英語教育学特殊研究 I ~ III B
言語文化学特殊研究 I ~ III B
通訳・翻訳コミュニケーション特殊研究 B

前

英語学特殊研究 I ~ VA
英語教育学特殊研究 I ~ III A
言語文化学特殊研究 I ~ III A
通訳・翻訳コミュニケーション特殊研究 A

特殊研究科目

後

英語学演習 I ~ IVD
英語教育学演習 I ~ III D
言語文化学演習 I ~ IID

前

英語学演習 I ~ IVC
英語教育学演習 I ~ III C
言語文化学演習 I ~ IIC

後

英語学演習 I ~ IVB
英語教育学演習 I ~ III B
言語文化学演習 I ~ IIB

前

英語学演習 I ~ IVA
英語教育学演習 I ~ III A
言語文化学演習 I ~ IIA

演習科目

英語学専攻 博士課程後期課程・カリキュラムツリー



DP1

(1) 英語学、英語教育学、言語文化学の各分野もしくは、複数の分野にまたがって広範かつ高度な専門知識、技能を身につけそれらを応用できる。



DP2

(1) 専攻分野で研究成果を学術的な論文としてまとめ、それを国内外の学会で発表し、研究者として自立して研究活動を行う能力を身につけている。



DP3

(1) 急激に変わりゆく現代社会で高度の専門性が求められる職業を遂行するための専門知識、技能を身につけている。
 (2) 国内外の英語学、英語教育学、言語文化学の研究領域に対し、異文化に関する知識を深め、幅広い知識や柔軟で創造的な思考を身につけ、常に情報を収集、分析し、結論を導き論文にまとめ発表できる。

D3

博士論文

後

英語学特別演習 I F 英語教育学特別演習 I F
 英語学特別演習 II F 英語教育学特別演習 II F
 英語学特別演習 III F 言語文化学特別演習 I F
 言語文化学特別演習 II F

前

英語学特別演習 I E 英語教育学特別演習 I E
 英語学特別演習 II E 英語教育学特別演習 II E
 英語学特別演習 III E 言語文化学特別演習 I E
 言語文化学特別演習 II E

D2

後

英語学特別演習 I D 英語教育学特別演習 I D
 英語学特別演習 II D 英語教育学特別演習 II D
 英語学特別演習 III D 言語文化学特別演習 I D
 言語文化学特別演習 II D

前

英語学特別演習 I C 英語教育学特別演習 I C
 英語学特別演習 II C 英語教育学特別演習 II C
 英語学特別演習 III C 言語文化学特別演習 I C
 言語文化学特別演習 II C

D1

前

英語学特論 I A 英語教育学特論 II A
 英語学特論 II A 英語教育学特論 III A
 英語学特論 III A 言語文化学特論 I A
 英語教育学特論 I A 言語文化学特論 II A

後

英語学特論 I B 英語教育学特論 II B
 英語学特論 II B 英語教育学特論 III B
 英語学特論 III B 言語文化学特論 I B
 英語教育学特論 I B 言語文化学特論 II B

前

英語学特別演習 I A 英語教育学特別演習 I A
 英語学特別演習 II A 英語教育学特別演習 II A
 英語学特別演習 III A 言語文化学特別演習 I A
 言語文化学特別演習 II A

後

英語学特別演習 I B 英語教育学特別演習 I B
 英語学特別演習 II B 英語教育学特別演習 II B
 英語学特別演習 III B 言語文化学特別演習 I B
 言語文化学特別演習 II B

特論科目

演習科目



日本語文化学専攻 博士課程前期課程・カリキュラムツリー



DP1

1) 日中比較文学、日中比較言語文化学、日本語学、日本語教育学、言語学に関する専門的知識と分析能力を身につけている。



DP2

1) 日本語文化学専攻での研究目標を明確に把握し、専門的な職業に従事するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけている。



DP3

1) 日本語文化学専攻で培った知識と分析能力を活用し、産業・教育・研究の分野における今日的課題を解決するとともに、また、国際社会で対応できる能力を身につけている。
2) グローバル時代に要請される広い異文化理解に基づき、国際社会で発信できる能力を身につけている。

M2

修士論文

M1

DP1

DP3

DP2

後

日本語文化学演習 I～VD
応用日本語学演習 I～VD

前

日本語文化学演習 I～VC
応用日本語学演習 I～VC

後

言語学特殊講義 I～II B 外国語教授法特殊講義 B
第二言語習得理論 B 社会言語学特殊講義 B
対照言語学 I～III B 比較文化論特殊講義 B
映像メディア文化論 B 情報文化論 B
言語情報処理論 B マルチメディア教育論 B

前

言語学特殊講義 I～II A 外国語教授法特殊講義 A
第二言語習得理論 A 社会言語学特殊講義 A
対照言語学 I～III A 比較文化論特殊講義 A
映像メディア文化論 A 情報文化論 A
言語情報処理論 A マルチメディア教育論 A

後

日本語文化学特殊研究 I～VB
応用日本語学特殊研究 I～VB

前

日本語文化学特殊研究 I～VA
応用日本語学特殊研究 I～VA

後

日本語文化学演習 I～IV B
応用日本語学演習 I～IV B

前

日本語文化学演習 I～IV A
応用日本語学演習 I～IV A

後

日本語文化学実習 I～VB
日本語研究基礎実習 I～VB

前

日本語文化学実習 I～VA
日本語研究基礎実習 I～VA

専門科目

演習科目

実習科目

共通科目

日本語文化学専攻 博士課程後期課程・カリキュラムツリー



DP1

1) 日中比較文学、日中比較言語文化学、日本語学、日本語教育学、言語学に関する高度な専門的知識と分析能力を身につけており、それを新たな課題の解決に応用できる。



DP2

1) 日本語文化学専攻での研究目標を明確に把握し、専門的な職業に従事するために、多角的で、深く、柔軟な思考力、また的確な判断力、表現力を獲得している。
2) グローバル時代に要請される高度な異文化理解、摂取能力、海外との学術連携・共同研究を担う実務的、構築能力を身につけている。



DP3

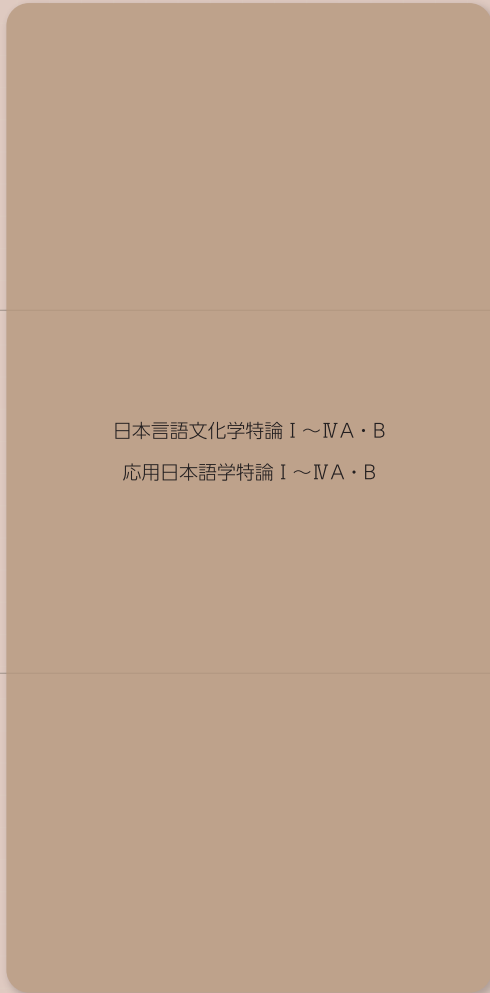
1) 日本語文化学専攻で培った高度で広範な専門知識と的確な分析能力を活用し、産業・教育・研究の分野において現代社会が直面する多様な課題を解決するとともに、国際社会において適切に対応できる能力を身につけている。
2) 多様な異文化を広く深く理解し、国際社会で相互理解を図りながら的確に発信できる能力を身につけている。

D3

博士論文

D2

D1



日本語文化学特論 I ~ IVA・B
応用日本語学特論 I ~ IVA・B

専門科目

前

日本語文化学特別演習 I ~ IIE
応用日本語学特別演習 I ~ IVE

後

日本語文化学特別演習 I ~ IIF
応用日本語学特別演習 I ~ IVF

前

日本語文化学特別演習 I ~ IIC
応用日本語学特別演習 I ~ IVC

後

日本語文化学特別演習 I ~ IID
応用日本語学特別演習 I ~ IVD

前

日本語文化学特別演習 I ~ IIA
応用日本語学特別演習 I ~ IVA

後

日本語文化学特別演習 I ~ IIB
応用日本語学特別演習 I ~ IVB

演習科目